

2024年6月28日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
 代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
 (コード番号 6740 東証プライム)
 問合せ先 執行役員 CFO 坂口 陽彦
 (TEL. 03-6732-8100)

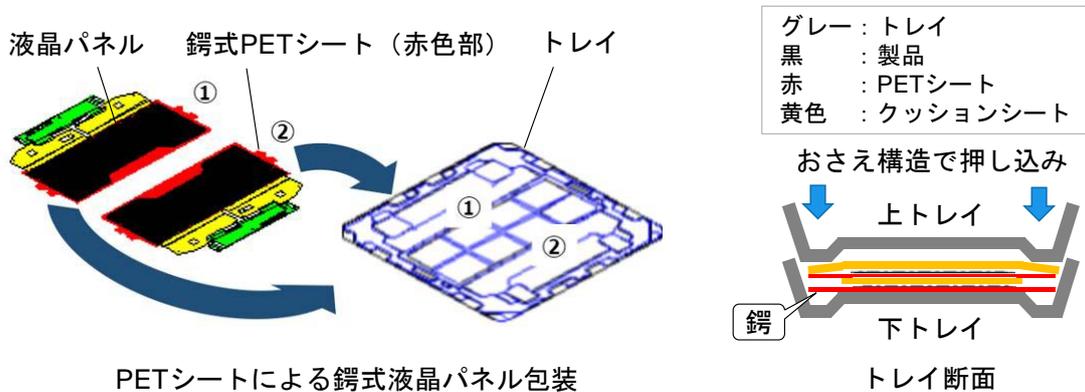
第25回 物流環境大賞「特別賞」を受賞

当社は、SBS 東芝ロジスティクス株式会社と共同開発した液晶モジュール製品の梱包仕様改善の取り組みが、環境負荷低減の面から物流業の発展に貢献していると評価され、一般社団法人日本物流団体連合会主催「第25回 物流環境大賞」において「特別賞」を共同受賞しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

液晶モジュール製品は、非常に薄いガラス基板（パネル）と IC チップなどの電子部品で構成されており、輸送時の振動・衝撃で割れや断線に至りやすいことから、梱包においてはパネルの保護と電子部品の保護の両方が大変重要です。また、極薄ガラスを使ったパネルには重ねると割れやすい構造上の脆弱部分があるため、製品は1トレイに1枚ずつ収納する仕様が一般的であり、輸送効率が非常に低いという課題がありました。

この課題を解決するため、DFL（Design For Logistics：物流を考慮した製品・梱包設計のこと）視点に基づいて製品企画・製造工程まで遡って製品構造を再確認し、梱包のあり方を見直した結果、製品保持や耐衝撃性能向上、画面保護を目的として PET（ポリエチレンテレフタレート）素材シートを罫（つば）形状とし、パネルに貼付する仕様の開発に至りました。

これにより、梱包に使用する発泡クッション材の削減と、それまで困難だった1トレイへの製品2枚収納を実現することができました。また、梱包資材削減と輸送効率の向上、更には輸送における CO₂ 排出量削減にも貢献しております。（CO₂ 排出削減量試算：約 21t-CO₂/年、従来比 約 36%削減）



この新たな梱包仕様は、梱包の減量化、包装の簡素化によりプラスチックに係る資源循環の促進にも貢献するものであり、当社と SBS 東芝ロジスティクス株式会社は物流分野における環境負荷低減を図った事業者として評価され、受賞に至りました。当社は、今後とも更なる CO₂ 排出量削減、資源有効活用に取り組んでまいります。

【物流環境大賞とは】

物流環境大賞は、2000 年 6 月、一般社団法人日本物流団体連合会により、物流部門における環境保全の推進や環境意識の高揚等を図り、物流の健全な発展に貢献した団体・企業または個人を表彰する目的で創設されました。

以 上